

한통련 뉴스레터

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方は chuo@korea-htr.org までご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●バイデン大統領の韓日歴訪、対中包囲網を構築、韓米同盟をグローバル包括的戦略同盟へ…尹政権は米国に追従するな！



首脳会談後、共同記者会見するバイデン大統領(左)と尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領

バイデン米大統領は5月20～22日まで訪韓、22日に日本に移動し24日まで滞在。期間中、韓米首脳会談と日米首脳会談に加えて、米国主導の経済圏構想「インド太平洋経済枠組み（IPEF）」の発足式、米日豪印4カ国の連携枠組み「クアッド」の首脳会合に臨んだ。

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は21日、ソウル龍山の大統領室庁舎でバイデン大統領と会談した。両首脳は会談直後に発表した共同声明を通じて、両国間の同盟が「グローバル包括的戦略同盟」に引き上げられたと強調。「平和と繁栄の核心軸である韓米同盟は、民主主義、経済、技術分野でグローバルリーダーである両国の中核的役割を反映し、朝鮮半島を大きくこえて成長してきた」とし、「気候変動とコロナパンデミックのような生存と直結する挑戦、ロシアのウクライナ攻撃に代表される国際秩序に対する脅威に直面し、韓国と米国は共同の政治、経済、安保そして両国民間の紐帯を深め広げていく共通の決意で団結する」と明らかにした。また、両首脳は「朝鮮半島の完全な非核化」実現、韓米合同軍事演習の規模拡充、拡大抑止協議の活発化などを確認。韓米日協力については「北韓（※正しくは朝鮮）の挑戦に対応し、共同安保と繁栄を守り共同の価値を支持

し、規範に基づいた国際秩序を強化するうえで韓米日3カ国協力の重要性を強調した」とし、経済分野でも同様に言及した。バイデン大統領は、尹大統領がクアッドへの参加に関心を示していることを歓迎。両首脳は、台湾海峡の平和と安定維持の重要性も強調した。経済安保では、IPEFを通じ、緊密に連携する姿勢で一致した。関連して両国は経済安保対話のチャンネルを新設することにした。

岸田文雄首相は23日、都内・迎賓館でバイデン大統領と会談した。両首脳は日米同盟の抑止力と対処力を強化する方針で一致。岸田首相は「防衛力を抜本的に強化し、防衛費の相当な増額を確保する」と伝え、バイデン大統領は歓迎した。岸田首相が「いわゆる反撃能力も含めて選択肢を排除しない」と述べたことに、バイデン大統領は「日本防衛の決意は揺らぐことはない」と応じ、両首脳は拡大抑止を維持・強化するため、閣僚級で緊密に意思疎通を図ることで合意した。朝鮮の核・ミサイル開発に対する日米、日米韓の連携も確認した。

バイデン米大統領は23日、IPEFの発足を東京で宣言した。創設メンバーは米国と韓国、日本、インドなど13カ国。経済安保の観点で中国への過度な依存から脱却するため、インド太平洋地域における新たな経済秩序の構築を目指すとした。尹大統領はオンラインで発足式典に出席し「韓国も堅固な連携に基づき責任を果たす」と述べた。

24日には東京でクアッド首脳会合が開催され、日米首脳とモディ印首相、アルバニー豪首相が参加。発表された共同声明では、インド太平洋地域における中国の台頭を念頭に「現状を変更し、地域の緊張を高めようとするあらゆる威圧

的、挑発的、一方的な行動に強く反対する」とし、朝鮮に対し「国連安保理決議に従い、挑発行為を控えるとともに、実質的な対話に取り組むよう求める」と言及した。

バイデン大統領の今回の韓日歴訪の目的は△インド太平洋戦略のもと同盟国・パートナー国による対中国包囲網を軍事・経済面で構築する△韓国と日本をその戦略の中心軸に据え、韓米日3カ国の協力体制を推進する△朝鮮に対する韓米連合軍事態勢を強化し、対朝鮮政策を同盟国・パートナー国と共有する△ウクライナ事態を念頭に置きながら、インド太平洋戦略を地球規模に拡大する一とあるところにあつたといえる。中国はこうした米国の姿勢に強く反発しており、朝鮮とロシアも同様だ。韓国内では全国民衆行動など市民社会団体が「軍事同盟、軍事競争ではなく平和を選択せよ」「従属的な韓米関係を変えよう」と声をあげた。残念ながら、尹政権と岸田政権はバイデン政権を支持し協力する積極的な姿勢を示した。特に韓国は米国の意向に沿いながら、現在の韓米同盟を地

域と分野をこえた拡大同盟、つまりグローバル包括的戦略同盟とすることに合意した。米国政府が自らの権益を維持、拡大するためにつくり出そうとするインド太平洋戦略、さらには「新冷戦」秩序のもとで、韓国はその前哨基地にされようとしている。朝鮮半島の平和と祖国統一を民族の第一の利益と位置づけて、米国に追従するのではなく自主的に対応することが切に望まれる。



21日、全国民衆行動などの市民社会団体が龍山の戦争記念館前で「韓米首脳会談対応行動集会」を開催した

●尹錫悦大統領、「検察共和国」実現へ…韓東勲法務長官を任命、人事検証組織の新設



韓東勲(ハン・ドンフン)法務部長官

尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領は5月17日、韓東勲(ハン・ドンフン)氏を法務部長官に任命した。韓氏は尹大統領の検察時代の後輩で、最側近とされる。文在寅(ムン・ジェイン)政権時代に、同政権で法務部長官を務めた曹国

(チョ・グク)氏の親族に関する疑惑などの捜査を指揮した。当時の政府と検察のあつれきの影響で左遷されたものの、新政権発足に伴い、法務部長官に抜てきされた。この日までに18官庁のうち16官庁の長官が任命されたが、教育部長官候補は3日に辞退、保健福祉部長官候補は23日に辞退した。尹大統領は21日、前日に韓惠洙(ハン・ドクス)氏の首相任命同意案が国会本会議で可決されたのを受けて、同氏を首相に任命した

(首相の任命は国会の同意が必要)。韓氏の任命手続きは、韓氏が金・張(キム・ジャン)法律事務所から高額な顧問料を受け取り、前官礼遇(裁判官や検事を辞めて転身した弁護士に対して、なるべく裁判で勝たせるようにすること)したなどの疑惑が解明されていないとして、167議席(定数300)を有する第一野党「共に民主党」が反対し難航した。同党は本会議直前に議員総会

を開き、内部投票の末に任命同意案に賛成することを決めた。

法務部は24日、公職者の人事検証を担う人事情報管理団長を新設する政令改正立法予告を官報に告示した。同部は「公職候補者らの人事情報収集・管理の権限を、従来の大統領秘書室長以外に法務部長官にも委託する」と説明し、来月、人員の増員など関連制度の改正を進める方針。人事情報管理団長は法務部長官直属で、人事検証組織は最大4人の検事を含む計20人で構成される。尹大統領は、大統領府の民情首席秘書官室が公職者の人事検証や不正監視などを行い強大な権力を持っていたとして、同室を廃止し、その役割を法務部などに担当させる考えを示していた。

検事総長出身の尹大統領は最側近の韓氏を法務部長官に任命し、韓法務部長官は就任するとすぐに「文大統領系」の検事を排除し、「尹大統領直系」の検事らを前面に配置する検察人事を断行した。さらには、高位公職者が主対象と予測される、公職者を人事検証する法務部長官直属の人事情報管理団長を新設することを明らかにした。国会聴聞会を経なければならない検事総長人事を後回しにし、尹大統領の意向に沿った検事を配置することで「大統領—法務部—検察」のラインを優先して構築したものだ。こうした体制が、検察の政治的中立を維持し不正腐敗に立ち向かう公正な検察、国民から信頼される検察をつくり出すかは、はなはだ疑問だ。一連の措置は、尹大統領が「検察共和国」「新公安統治」の実現を目指していることを示している。

●光州精神を継承し民族自主を争取しよう！ 光州民衆抗争42周年記念在日韓国人全国集会を開催



「光州出征歌」を歌う韓青・学生協メンバーたち

在日韓国民民主統一連合（韓統連）は5月22日、名古屋市内で「光州精神を継承し民族自主を争取しよう！光州民衆抗争42周年記念在日韓国人全国集会」を開催した。

集会は金昌五（キム・チャンオ）事務長の司会で進行され、民衆儀礼、資料映像上映に続いて趙基峰（チョ・キボン）副委員長が主催者あいさつ。趙副委員長は「光州の精神は民主化を求める人々の思いであり、6月民主抗争、キャンドル革命に継承されていった。韓国では祖国統一に逆行する政権が誕生した。尹錫悦新政権は米国の言いなりであり、南北関係は停滞するおそれがある。だが、歴史は必ず不正常的なものを正常に変えていく。いまこそ光州の闘いを継承し、自主・民主・統一への道を邁進していこう」と語った。

宋世一（ソン・セイル）委員長が現在の朝鮮半島情勢について講演。米国の対外政策について、「自らの覇権を阻むものを『敵対勢力』とし、同盟国・パートナー国との関係を強化することで圧力をかける「新冷戦」戦略を進めようとしている」と指摘。尹政権については「徹底的な米国追従であり、韓米同盟はグローバルな包括的戦略同盟へと強化されようとしている」とし、南北関係についても「これまでの南北合意を無視し、一方的な非核化を要求している。朝鮮がこのような要求に応じることはありえず、より南北関係は停滞するだろう」と批判。今後の課題として、民族自主勢力の総結集により、尹政権の対米従属と朝鮮との対決政策をやめさせ、南北合意を実践させることをあげた。また、国会状況を反映させて、南北関係と国内の民主化を促進する法制化を提示した。

各地方本部から意見表明が行われた。神奈川本部の金承民（キム・スンミン）事務局長は「青年時代に光州の闘いを学び、民族の一員として誇らしい思いを持つことができた。今後は地域で民族自主力量を結集させ、日本による歴史歪曲策動を破綻させ、朝鮮半島の平和と統一を求めていきたい」と語った。三重本部の丁勝明（チョン・スンミョン）事務局長は「光州42周年を迎え、民族の自主を奪っているのが誰なのか、いま一度胸に刻まなければならない。尹政権は米国従属の道を歩み始めた。民主化と統一への歩みは停滞し、朝鮮との対決姿勢をあらわにしている。わが民族の未来を託すに値しない政権だ。光州精神を継承し、米国の支配と干渉をはねのけ、自主・民主・統一を達成しよう」と強調した。

韓青・学生協は光州の闘いへの思いを集めながら「光州出征歌」を力強く斉唱。韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「わたしたち青年学生は尹政権が悪辣な妨害をしてきても堂々と闘い続ける。光州精神を継承し、より多くの在日同胞青年と手を取り合って自主・民主・統一を進めていく」と決意を語った。

決議文を金源道（キム・ウォンド）副事務長が朗読。△光州精神を継承し民族自主を争取する△尹錫悦政権の対米従属を糾弾する△南北合意の実践を要求する△自主・民主・統一の旗のもと組織と運動を前進させるの4項目を決議した。

金事務長が閉会あいさつ。「検察権力を背景にした尹政権は、今後必ずキャンドル市民と対決することになるだろう。わたしたちの闘争は今日の集会を契機にスタートする。自主的民主政府の樹立に向けてともに闘っていこう」と語った。



決議事項を唱和する参加者たち

光州集会は国内のメディア「自主時報」「統一ニュース」に掲載されました

自主時報 <http://www.jajusibo.com/59648>

統一ニュース <http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=205110>

決議文

歴史的な光州民衆抗争から42周年を迎えた。1980年5月、光州地域の学生、市民は、全斗煥軍部勢力が投入した戒厳軍に対して、民主を守り抜くために果敢に立ち上がり決死的に闘った。光州民衆抗争は、歴代の軍部独裁の背後には米国が存在することを明らかにし、反独裁民主化闘争を反外勢民族自主化闘争へと発展させるうえで、決定的な契機となった民主化闘争である。全国から結集したわたしたちは光州民衆抗争の闘争精神、光州精神を継承し、必ず民族自主を勝ち取ることを決意する。

バイデン米政権は朝鮮に対して、「敵視はしていない」「無条件で対話する」と外交関与姿勢を強調する一方で、朝鮮側が敵視行為として中止を求める韓米合同軍事演習を強行するなど、朝鮮に対する軍事圧力を加え続けている。また、中国に対抗するインド・太平洋戦略を掲げ、韓国、日本など同盟国とパートナー国を総動員することで中国包囲網の構築を急いでいる。こうしたなか、尹錫悦大統領は5月21日、ソウルでバイデン大統領と初の首脳会談を開催し、韓米同盟を包括的戦略同盟へと引き上げ強化することに合意した。これは、朝鮮に対する韓米連合軍事態勢をさらに強化することに加えて、韓国のインド太平洋経済枠組み（IPEF）への参加が示すように、韓米同盟を経済安保の分野にまで拡大することを意味し、韓米同盟は軍事と地域をこえた拡大同盟となった。尹政権がバイデン政権とともに推進する包括的戦略同盟と韓米日軍事「同盟」により、韓国は米国に追従しながら、世界的な「新冷戦」へと巻き込まれ、その前哨基地となる危険性をはらんでいる。米国の覇権政策に断固反対するとともに、尹政権の対米追従姿勢を厳しく糾弾しなければならない。

2018年の板門店宣言とピョンヤン共同宣言・軍事分野合意書により本格的に始まるはずだった朝鮮半島の平和と祖国統一への画期的な歩みは、民族自主権に対する米国の支配と干渉、また文在寅政権の民族自主性の喪失により、残念ながら現在も停滞している。尹大統領は大統領選挙期間中、「朝鮮への先制攻撃」発言など朝鮮への対決姿勢をあらわにし、大統領就任辞では南北合意に言及せず、南北合意にない「朝鮮の先非核化」を主張した。しかし、文政権末期に交わされた南北首脳間の親書は尹政権に対し、「南北合意を順守しながら対話で関係改善しよう」とのメッセージを送っている。尹大統領は朝鮮への対決姿勢を改め、民族自主のもと南北合意を尊重し誠実に実践することで、南北関係の改善と発展を推進しなければならない。

尹政権の出帆にあたり、わたしたちは光州精神を継承し、自主・民主・統一を一日も早く実現する決意を胸にしながらか、次のとおり決議する。

決議事項

1. 光州精神を継承し民族自主を争取しよう！
1. 米国の覇権政策に反対し尹錫悦政権の対米追従を糾弾する！
1. 尹錫悦政権は南北合意を誠実に実践せよ！
1. 自主・民主・統一の旗のもと組織と運動を前進させよう！

2022年5月22日

光州精神を継承し民族自主を争取しよう！
光州民衆抗争42周年記念在日韓国人全国集会
参加者一同

●都心で「復帰」50年を問う集会・デモ…宋委員長が賛同メッセージ



デモ行進をする参加者たち

沖縄の日本復帰から50年となる5月15日、米軍基地用地の賃貸契約を拒否する「反戦地主」の支援を目的とする「沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック」は、都内・日比谷公園で集会「『復帰』50年を問うー 軍事基地は出ていけ！」を開催した。主催者は「祝賀ムードを演出し、沖縄の米軍基地を固定化するための復帰50年式典に抗議する」などとするメッセージを発表。約65

0人（主催者発表）の参加者は集会後、「基地は出て行け」「（名護市）辺野古新基地反対」などと声を上げながら、銀座周辺をデモ行進した。

韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長は次のような賛同メッセージを寄せ、集会に参加した。<米国は同盟国とパートナー国を動員して朝鮮、中国、ロシアを対象に包囲網を形成し、軍事的圧力を加えることで、自らの国際的覇権を維持しようと必死です。そのための東アジアにおける要所は、沖縄と韓国の米軍基地です。「新冷戦」ともいわれる緊迫した国際情勢のなかで、米軍基地を持つ国や地域が米国の意向により、戦争や紛争にいやおうなく巻き込まれていくことは、いま十分に予想される事態となっています。国際民衆連帯の力で、沖縄、韓国から米軍基地を一日も早く撤退させ、東アジアの平和を実現しましょう。>

●都内で「韓国大法院判決の意義と強制動員問題解決の道」を開催



李泳采（イ・ヨンチェ）教授が報告

5月24日、衆議院第二議員会館で集会「韓国大法院判決の意義と強制動員問題解決の道」が開催された。主催は「強制動員問題解決と過去清算のための共同行動」。主催者あいさつ後、会場に参加した国会議員からあいさつ。立憲民主党の近藤昭一議員は「韓国の政権交代により日韓関係がよくなるという意見もあるが、歴史問題を無視した改善は間違っている。みなさんと連携を強めて頑張っていきたい」と強調した。

その後、同志社大学の太田修教授、恵泉女学園

大学の李泳采（イ・ヨンチェ）教授が報告。太田教授は「過去の克服」をテーマに報告。「1965年の韓日条約は日本の植民地支配に対して一切言及しておらず、『過去の克服』にはつながっていない」と指摘。「過去の克服とは単なる歴史認識の問題ではなく、被害者の主体性回復を目指すものであり、未来を目指すものだ」と強調した。李教授は韓国の尹錫悦政権の対外政策を解説。

「尹政権は米国への追従姿勢が強く、韓米同盟をグローバル同盟へと強化しようとしている。韓日関係については、米国の圧力によって歴史問題に対して妥協的な姿勢を見せるだろうが、当事者不在の中での解決は難しいだろう」と指摘。「市民の力で戦後補償問題を解決し、『人間の安全保障』をつくり上げていこう」と語った。

運動の現場からは市場淳子氏（韓国の原爆被害者を救援する市民の会）、李國彦（イ・クゴン）氏（日帝強制動員市民会）、中田光信氏（日本製鉄元徴用工裁判を支援する会）がそれぞれの裁判闘争の現状と課題を報告した。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、公演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ>

韓統連Instagram

https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja

韓統連



韓統連YouTubeチャンネル



韓統連Instagram

행사예정 行事予定

5月

第25回統一マダン神戸

日時：5月29日（日）11時～15時 場所：若松公園・鉄人広場 内容：民族文化ステージ、韓国料理をはじめとした屋台など 参加費：無料 主催：統一マダン神戸実行委員会 連絡先：090-5016-6352

6月

第27回統一マダン生野

日時：6月5日（日）正午～ 場所：生野区巽公園（ロート公園）内容：ステージ（パフォーマーちゃんへんによるジャグリング、民族楽器演奏、朝鮮舞踊など）、韓国料理をはじめとした屋台 主催：第27回統一マダン生野実行委員会 連絡先：06-6711-6377

情勢学習会(神奈川)

日時：6月12日（日）午後2時～ 場所：ミュージア川崎 内容：朝鮮半島情勢を学ぶ学習会（講師－李俊一総務部長） 主催：韓統連神奈川本部 連絡先：090-1049-4261

7月

「私はチョソンサラムです」神戸上映会

日時：7月9日（土）受付13時45分 上映14時15分 場所：兵庫県民会館・けんみんホール 参加費：前売り1,000円 当日1,500円 主催：同上映会 連絡先：078-222-4747（池本）

光州集会を開催しましたが、今回はなんとといっても韓青・学生協の仲間たちが青年らしい元気な姿を見せてくれたのがなにより良かったです。やはり青年たちが時代の先駆者であり、宝ですね。尹錫悦政権との新たな闘いの幕開けにふさわしい、活気ある集会でした。（李）